

「障害者雇用政策をめぐる日米比較」“Disability Policy in Japan and the United States”

東京カンファレンス

日時 2013年7月26日（金）10:00~17:00、27日（土）9:00~10:30

会場 早稲田大学早稲田キャンパス9号館5階第一会議室

主催 ロヨラ・ロサンゼルス・ロースクール 早稲田大学比較法研究所

後援 国際交流基金日米センター

定員：40名（同時通訳あり）※事前申し込み必要

7月26日（金）

10:00 開場

10:20 主催者挨拶

10:30 - 12:00 第1セッション 「割当雇用制度と差別禁止法は共存しうるのか？」

Samuel Bagenstos (Faculty of Law, University of Michigan)

山田雅彦氏（厚生労働省障害者雇用政策課長）

（12:00 - 13:30 昼休み）

13:30 - 15:00 第2セッション 「障害者の雇用にあたって、一般労働者と同じ職場で就

労すべきか、または特例子会社のように分離した職場で就労すべきか？」

Eve Hill (Civil Rights Division)

丸物正直氏（SMB C グリーンサービス顧問）

（15:00 - 15:30 休憩）

15:30 - 17:00 第3セッション 「障害者雇用を促進するためにどのような技術が存在す

るのか？また、その支援の方法はどのようなものか？」

Daniel Goldstein (Attorney at Law, Brown Goldstein & Levy, LLP)

正田勇一氏（〔独〕高齢・障害・求職者雇用支援機構 中央障害者雇用情報センター 障害者雇用エキスパート）

7月27日（土）

9:00 - 10:30 第4セッション 「国連障害者権利条約などの国際法規範が、日本またはアメリカの障害者雇用にどのような影響を与えたか？改善はあったといえるのか？」

Michael Waterstone (Loyola Law School, Los Angeles)

長谷川珠子氏（福島大学）

司会：菊池馨実（早稲田大学）、中川 純（北星学園大学）

ディスカッサント：浅倉むつ子氏（早稲田大学）、池原毅和氏（東京アドヴォカシー法律事務所・弁護士）、小林昌之氏（アジア経済研究所）、永野仁美氏（上智大学）、遠藤嘉樹氏（国立吉備高原職業リハビリテーションセンター）

申込方法など

- ・同時通訳の機材の制約上、事前申込制とし、定員を設けます。参加希望者は事務局（林健太郎〔早稲田大学大学院博士課程〕 kentaro-hayashi@akane.waseda.jp）までお申込ください。定員に達した場合、ご希望に添えないことがあります。
- ・予算の制約上、情報保障は行えませんので、ご容赦ください。